

川面地区トピックス Topics in Kawamo Area

大堀川に監視カメラが設置されました！

令和3年〇〇月〇〇日、宝塚市へ要望していた大堀川(向月町)に監視カメラが設置されました。

たびたび浸水被害のある向月町において、急激に水位が上がりやすい大堀川を監視するためのものです。

その画像は随時、川面地区自主防災会のポータルサイトで確認することができます。

雨が降り続く時にはこの画像を確認し危険が迫ったら避難しましょう。(表紙写真参照)

電柱に氾濫予想水位の看板が設置されました！

宝塚市に要望していた、電柱に武庫川が決壊した時の最大浸水深決壊の看板を取り付けました。令和〇年〇〇月～〇〇月にかけて向月町を中心に電柱〇〇箇所に設置されています。

普段から自宅周辺では何メートルの浸水になるのか認識していざという時の避難行動に結びつけましょう。

(表紙写真参照)

水害時における緊急一時避難場所協定を締結 ～南分会～

この度南分会におきまして、当分会内の高層マンション1棟と該当自治会との間で「水害時における緊急一時避難場所協定書」を締結することができましたので報告いたします。

これは武庫川等が決壊する様な大規模水害時に、避難遅れ等発生した地域住民の緊急一時的避難場所として、地区内で選定した高層建築物を使用する目的で協定を交わしました。



掲示板に宝小コミュニティだより・防災新聞を掲示

川面地区各地にある掲示板には宝小コミュニティだより、川面地区防災新聞「みんなの防災スイッチ便り」を掲出しています。



川面地区防災新聞

自分たちの街は自分たちで守ろう!!

Vol.3

みんなの防災スイッチ便り



想定浸水深の看板



大堀川の監視カメラ

私が武庫川水位を定点観測しています。

ソリオ自治会で〇〇〇〇〇〇にお住いの山本真里さんに、宝来橋に設置されている水位計を雨が降るたびに写真撮影してもらい、川面地区自主防災会のLINEグループにアップしていただいています。防災スイッチの基準設定のための観測でもあります。



令和4年1月23日 宝塚小学校において宝塚小学校・川面地区自主防災会合同防災訓練を行います。また、令和4年2月13日ソリオホールにて防災セミナーを開催します。みなさま、ぜひ参加お願いいたします。

みんなの防災スイッチ便り Vol.3号 2021年10月発行
発行元：宝塚市川面地区自主防災会
会長 喜多 毅

川面地区自主防災会
ポータルサイト



防災マップと合わせて毎号大切に保管しましょう



市長プロフィール
氏名：山崎 晴恵(やまさき はるえ)
生年月日：昭和45年(1970年)1月29日
任期：令和3年(2021年)4月19日～令和7年(2025年)4月18日(1期目)
最終学歴：神戸大学大学院法学研究科(平成25年(2013年)3月修了)

宝塚市長のこトバ 山崎 晴恵 宝塚市長

川面地区自主防災会の皆様におかれましては、平素から市政の各般にわたり、格別なるご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

阪神・淡路大震災を教訓に「自らの命は自らで守る」という理念の下、自主防災組織を発足されて以降、「防災スイッチ」やポータルサイトなどの先進的な取組により、積極的な防災活動を継続されていますことに心から敬意を表します。

1年半の長期にわたりコロナ禍が続く中、皆様方には大変ご不便とご心労をお掛けしておりますが、防災・減災の備えとしては、自然災害と感染症の複合災害に対する一人ひとりの取組が被害軽減に繋がります。

今後とも、市政運営への変わらぬご理解とご協力とともに、引き続き防災活動へのご尽力を賜りますようお願いいたします。

最後に、貴会の益々のご発展と会員皆様のご健康とご多幸を心より祈念申し上げます。

災害から自分たちの街は自分たちで守ろう!!



広沢池・下ノ池の決壊による氾濫

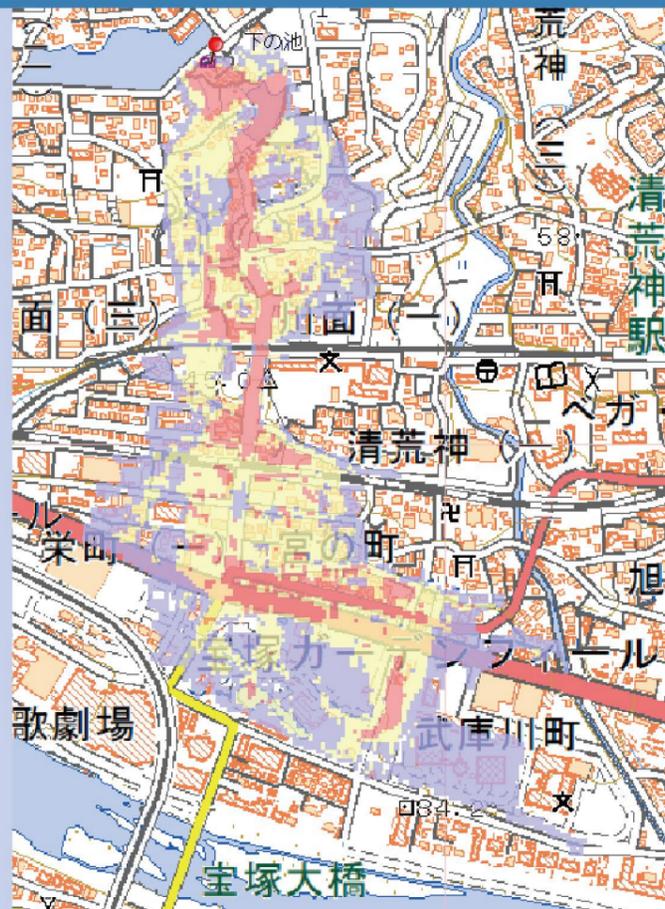
広沢池、下ノ池の堤防決壊による氾濫が兵庫県 CG 砂防ハザードマップで公表されています。
<http://www.hazardmap.pref.hyogo.jp>

広沢池



歩行困難度
■ 可能
■ 困難
■ 不可能

下ノ池



歩行困難度
■ 可能
■ 困難
■ 不可能

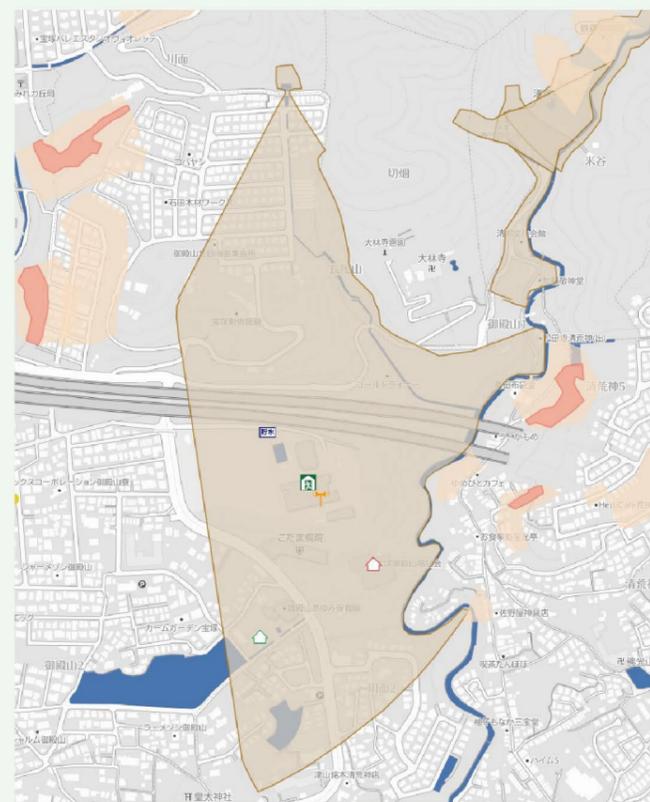
⇒ため池は(地震等により)瞬時に決壊すると想定した場合、広範囲に浸水します。特に歩行困難とされるエリアは、人が流されたり、家屋が流出する可能性があります。

今後、宝塚市にてため池ハザードマップが作成される予定です。その際、ため池の堤体監視の方法や避難のタイミング等、ため池氾濫への対応方法について、自主防災会としても、宝塚市と連携して、協議していきたいと考えます。



御殿山北地区の土砂災害

御殿山北地区では、土石流氾濫の警戒区域がハザードマップに示されています。



⇒御殿山四丁目の土石流の起点上流は、谷地形となっています。頂上部で崩壊が発生すれば土石流が発生する恐れがあります。

土石流警戒区域は、勾配が2°以下になるところまで指定されていますが、途中、中国自動車道の擁壁などがあり、実際にどのような土石流の流れとなるかは、シミュレーションが必要です。熱海の土石流の被害も発生していることから、自主防災会としても、宝塚市と連携して、対応方法について協議していきたいと考えます。

御殿山中学グラウンド地下にある耐震性貯水槽

宝塚市では地震などで水道管が破損し、水道水の供給ができなくなった時のため、100トンの飲料水・消火用水を貯水する「耐震性貯水槽」を市内8ヶ所に設置しています。川面地区では御殿山中学校グラウンド地下にあります。

川面地区自主防災会では毎年8月に放水訓練を行っておりますので、ぜひ参加してください。(令和3年度はコロナで中止)

